

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 3

平成29年8月21日

西部農林振興センター県央事務所農業普及部

標 題	県央地区で花シャクヤクの取組が進んでいます！！
-----	-------------------------

(ダイジェスト)

「島根おおち花き部会 しきの会」では、露地切り花の有望品目として花シャクヤク栽培の取組が進んでいます。当普及部では、栽培指導の他に、花の最適な収穫タイミングを見定める切り前試験を行い、適期出荷を図っていきます。

「島根おおち花き部会 しきの会」(以下「しきの会」という。)は、露地切り花の有望品目として昨年度から約4aで花シャクヤクの栽培を開始し、平成30年頃からの出荷を見込んでいます。

2年目となる今年は、2月下旬に萌芽が確認され、5月中旬には各生産者のほ場で出蕾が確認されました。これに合わせ、5月29日に川本合同庁舎にて農業技術センター主催の研修会が開催され、市場が求める品種、栽培管理、収穫方法等についての講義と現地ほ場を訪れ、生育状況の確認や今後の管理方法について学びました。

今年度、さらに栽培面積の拡大を目指して、7月25日に「しきの会」主催の栽培研修会が開催され、導入品種の検討を行いました。今後は、8月下旬に市場関係者も含めた検討会を開催し、今年度の株導入や来年度の出荷体制に向けて検討を行う予定にしています。

当普及部では、来年度からの出荷に向けて、花シャクヤクの収穫タイミングを見定める切り前の試験を行っており、この状況も報告しながら、生産者と一丸となって花シャクヤク振興を行い、生産拡大を図っていきます。



生産者ほ場の様子 (5月下旬)



花シャクヤク研修会 (5月29日)



切り前試験の様子